



## あきらめずに最後まで向き合う大切さ

運動会の練習も始まり、忙しい日々の連続となります。5月は暑さに向かう時期となります。運動会の練習においても、暑熱順化に気をつけながら、暑さに向かい準備を行っていきます。各御家庭においても、暑さ対策をお願いします。

さて、前述しましたが、5月30日の運動会に向けて練習が本格化しています。今年も全校の子供たちが色の優勝を目指し、6年生を中心とした縦割り活動で勝利を目指します。勝負事なので勝ち負けもつくし、勝ちにこだわることも大切です。しかし、「勝つこと」と「負けないこと」は同じ意味なのでしょうか？過日、山梨日日新聞にフリーアナウンサーの小俣雅子氏の『「勝つ」と「負けない」は違う』という掲載があり思わず読んでしまいました。読んだ保護者の方もいらっしやると思いますが、最後にこんなことが書かれていました。

「勝つ」と「負ける」は同義語だろうか。同じ意味のようで、そうでないような気がする。と考えはじめた。敗北という点では同じように思えるが、相手より優位に立つ勝利と苦杯をなめないように頑張る姿勢は、やはり、かけ離れている。なんとしても相手を打ち負かすのと、あきらめずに最後まで戦うのでは、目標も異なる。「負けない」は、引き分けもよしとしそうだ。それに、向かう相手も、作戦も、心持ちも、別ものになる。

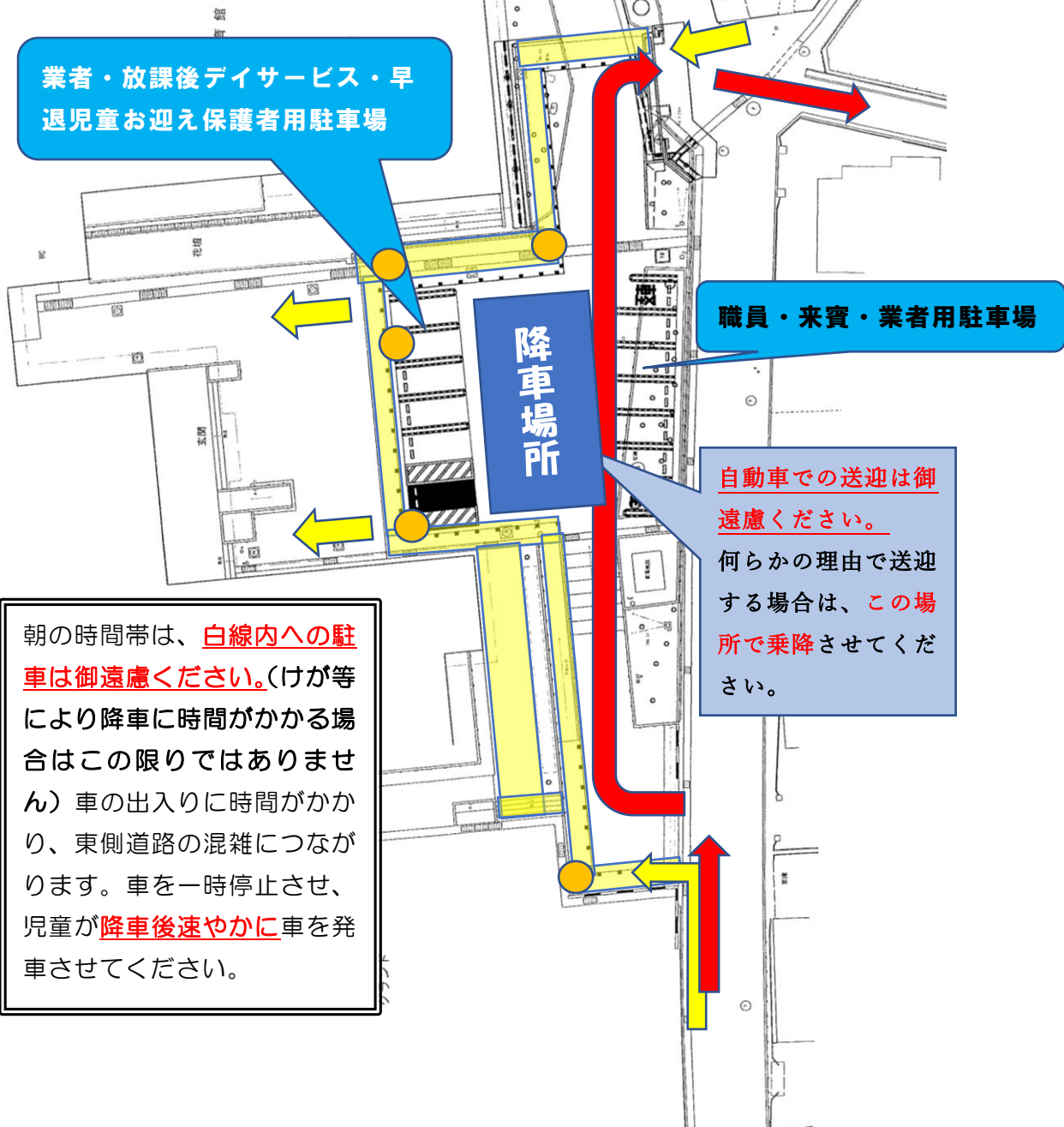
いかがでしょうか？私自身も考えさせられる文章でした。もちろん、「勝つ」ために頑張らせる事も大切ですが、「勝つ」と「負けないこと」への取り組ませ方にその意識付けは大きな違いがあることに気づかされたとともに、「あきらめずに最後まで戦う（向き合う）」事の大切さを改めて感じる事ができました。学校では運動会に向けての練習、そして、日々の学校生活においても「あきらめずに最後まで戦う（向き合う）」事の大切さを伝えていきたいと思えます。

### 御理解と御協力をお願い

毎朝、多くの保護者の皆様が子供たちと一緒に登校している姿に、いつも感心するとともに感謝しています。ありがとうございます。子供たちの学校への登校について、お願いがあります。それは毎朝の車での送りについてです。登校は基本的に徒歩での複数登校となります。私は日本の四季、雨や風、暑さや寒さを感じながら歩いて登校することも、小学生の成長段階にとって大きな意義だと思っています。ただ、時と場合によっては車等での送迎も必要です。しかし、毎日数十台の車が玄関前に送りのために入ってきています。昨年度、以前からの送迎の自動車による地元住民への御迷惑を緩和するための措置として、玄関前を改装しました。これは自動車での送迎を奨励するものではなく、やむを得ない事情での送迎に対しての近隣住民への迷惑防止のための措置となります。確かに物騒な時代になり、徒歩での登下校に不安を抱えているお気持ちも十分に理解はしていますが、子供たちの健全育成のために、できる限り徒歩での登下校に、御理解と御協力をお願いします。また、送迎時の車の出入りについては、改めて裏面を御確認ください。

昨年度配付した文書からの抜粋

業者・放課後デイサービス・早退児童お迎え保護者用駐車場



朝の時間帯は、白線内への駐車は御遠慮ください。(けが等により降車に時間がかかる場合はこの限りではありません)車の出入りに時間がかかり、東側道路の混雑につながります。車を一時停止させ、児童が降車後速やかに車を発車させてください。

歩行者専用通路（登下校時、校外への移動の際に児童が利用します）

車両通行帯（一方通行）早退児童のお迎えなどやむを得ず使用する場合は、図のように一方通行に御協力ください。※支柱とチェーン（黄色）で歩行者専用通路と分けてありますが、児童の飛び出し等には十分気を付け、徐行してください。

※登下校時のお迎えで、近隣住民の方々に御迷惑にならないよう、自動車の利用自粛をお願いします。敷地内も駐車スペースは数台分しかありませんので、登下校時の時間帯は自動車の使用を極力控えてください。

また、やや遅刻気味の子供たちも一定数います。登校時刻は8時15分までとなっていますので、遅刻のないよう声かけをお願いします。